

ベトナム最新情報

2004年9月10日(金曜日)

通巻第933号

***** 政治・経済 *****

100%外資企業3社が国内初の株式会社化

Dong Nai 省の企業3社が100%外資企業としては初めて株式会社化を果たした。具体的には、アルミニウム製品を生産する Tung Kuang 社と電線・ケーブル生産企業の Taya 社(共に Bien Hoa 工業団地)、および Taicera 陶磁器会社(Long Thanh 県 Go Dau 工業団地)だ。これら3社は10年前に同省で投資活動を開始した。現在、Tung Kuang 社の投資総額は約2,500万ドル、Taya 社は約2,100万ドル、Taicera 社は4,950万ドルとなっている。

(Lao Dong 9月8日,P.3)

現金による決済を制限

国家銀行は先ごろ、現金による決済管理に関する政府の決議草案を作成した。それによると、銀行口座を開設している組織間で製品・サービスの取引を行う際、現金決済以外の方法を選択しなければならない。但し、国家から割当てられた予算を使用する組織で決済額が500万ドン(約333ドル)以下、国家予算を使用しない組織は1,000万ドン(約670ドル)以下であれば現金での決済が認められる。

しかし、企業はこの決議が企業の生産活動に影響を及ぼすと懸念しており、国内の決済システムの整備は未だ不十分として決議の先送りを提議している。

(Sai Gon Giai Phong 9月5日,P.2)

鳥インフルエンザ感染で幼児死亡

保健省は9月8日、ハノイ市 Thanh Tri 県 Van Dien 地区の Le Viet Anh ちゃん(生後14カ月)が9月5日、鳥インフルエンザ H5 型ウイルス感染により死亡したことを明らかにした。これは鳥インフルエンザ H5 型感染と認定された27番目の症例となり、死亡例としては20件目となる。

Anh ちゃんの家族は8月15日、Ha Tay 省 Thuong Tin 県 Khanh Ha 村 Khanh Van 集落でアヒルを購入したが、この地域では現在、鳥インフルエンザの発生は確認されていない。Anh ちゃんの家族は、家禽の輸送が多い国道沿いにある Van Dien 市場の近隣に暮らしている。HIV/AIDS 予防・撲滅保健局は調査を実施し、家族が感染地域外にいることを確認した。伝染病衛生院は引き続き Anh ちゃんの血液検査を進める方針だ。今回のケースに

関し、世界保健機関(WHO)と保健省による話し合いが9月9日に行われる。

(Lao Dong 9月9日,P.1)

内地化が進まない国内自動車産業

ベトナム自動車メーカー協会(VAMA)は9月3日、「ベトナム自動車工業 - 税制と発展に向けた政策」と題したセミナーを開催した。席上、財政省税務政策部の Quach Duc Phap 部長は、国産自動車の一部車種に対する特別消費税の増税に関し各自動車メーカーから不満の声が上がっていることに対して、「増税は以前から予定されており、事前の説明も行ってきた」と理解を求めた。1998年に公布された特別消費税法によると、国産自動車に対する同税の優遇措置適用は2003年末までとされており、2004年からは同車種の輸入自動車と同様の税率を適用すると定められていた。しかし、各メーカーが技術革新を行うための設備投資費や国産自動車の市場シェア拡大などを考慮した結果、特別消費税の優遇政策打ち切りは2006年末への先送りが決定された。Phap 部長によると、国内の自動車生産業界は10年間に渡り政府の保護下にあったが、現在も依然としてほとんどの企業が組立て中心の生産活動に留まり、内地化率は最高でも10%未満と低く、投資家の予想を30~40%も下回っていることを指摘した。

(Tuoi Tre 9月5日,P.11)

輸入自動車の優遇政策、輸入後に変更される

ホーチミン市 Tan Thuan 輸出加工区税関支局は、外資企業10社に対し財政省の決定を伝達した。それによると、「財政省は、同輸出加工区内に優遇税の適用を受け輸入された12人乗り以下の自動車に対し特別消費税の課税を決定した。施行は決定公布日から30日後とする」というものであった。

2000年6月27日、加工区内で活動する Kyoshin 有限会社は、Mitsubishi 社の日本製の9人乗り自動車を輸入した(当時、国内では同車種は生産されていなかった)。これは、ホーチミン市輸出加工区・工業団地管理委員会が文書 105/BQL-XNK-CX 号を発行し輸入を許可したものである。輸入にあたり Tan Thuan 輸出加工区税関支局は、輸出入申告書、原産地証明書(C/O)に、「1997年4月24日に公布された政府決議 36/CP 号に基づき輸入税を免税、および1998年12月21日に公布された財政省の通達 168/1998/TT-BTC 号に基づき特別消費税を免税とする」と記載した。さらにホーチミン市税関支局の指導部が輸入に同意する旨も記された。この他にも同輸出加工区内では、外資企業9社が同様に自動車を輸入した。

しかし2003年4月、Tan Thuan 輸出加工区税関支局はこれらの外資企業に対し、当時輸入した自動車に関し特別消費税の追徴課税を伝えた。これは財政省による、「移動手段である自動車は輸出加工区外でも使用される可能性があるため、輸出加工区外の企業が輸入する自動車と区別することはできない。輸出加工区内で活動する企業は24人乗り以下の自

動車を輸入した場合、輸入税および特別消費税の納税義務がある」との見解に基づくものであった。

今回の財政省決定を受け外資企業 10 社は、「当時の自動車輸入は税関での正規手続きを経て輸入したにも関わらず、過去に遡り追徴することは遺憾である。優遇税適は政府決定であり、財政省決定が政府決定よりも効力を持つとは考えられない」として、首相および財政省に陳情する意向を示した。

(Nguoi Lao Dong 9 月 6 日,P.7)

日本市場のニーズに合わせた木製品作りを目指す

中部にある木材加工企業 C 社の A 社長は、日本向け木製品輸出で苦い経験をした。「日本企業との取引には信用が何よりも大切」ということを新聞などでしばしば目にし、社員からも同様の指摘を受けていたが、当時は気に留めていなかった。しかし、現在は信用の重要性を痛感しているという。

以前、C 社はある日本企業と長期の輸出契約を交わし、毎月 40 フィートコンテナ 2~3 本分の木製品を輸出していた。しかし、2003 年初頭に輸出製品の納期が遅れたため、それ以降の契約全てを解消された。A 社長は慌てて謝罪のため日本へ出向いたが許してもらえず、日本人との取引には信用、特に納期の厳守が大切だということ思い知らされたという。A 社長は、「出荷が遅れた時点で航空便に切り換えたなら納期は守れたでしょう。コストを気にして通常通り船便で送ったことを心から後悔しています」と語る。A 社長は当時、長年の取引関係があれば 1 度の納期の遅れぐらい問題ないと安易に考えていたという。ところが日本では木製品輸入企業のほとんどが着荷後すぐに販売店へ卸すため、出荷の遅れは販売ルート全体に影響を及ぼしてしまう。商務省によると木製品の主な輸出先は米国、日本、EU 諸国で、昨年日本向け木製品輸出額は 1 億 3,800 万ドルと木製品輸出総額の 24.3% を占めた。

同省アジア太平洋地域担当部の Nguyen Hai Tinh 副部長によると、ベトナムにとって日本は大きな輸出市場であるが、日本でのベトナム木製品のシェアは依然として小さいという。寝室用家具で 11.7%、オフィス用家具は約 1%に過ぎず、中国、インドネシア、タイ製品に比べ低いシェアとなっている。Tinh 副部長は、日本市場には米国や EU 諸国と異なる点が多いと話す。例えば米国では固めの木材(特に北米産のもの)を使用した製品が好まれるのに対し、日本では柔らかめの木材が好まれるという。また EU 諸国ではアウトドア製品の需要が高く、日本では室内用家具が多い。しかし、ベトナムでは固めの木材で室内向け製品を生産する企業が多いことから、日本市場への参入を考える企業は原料やデザインなどを変更する必要がある。また日本の住宅は小さく、畳敷きの和室もあるため、これらの特徴に合わせた商品開発や、日本文化の理解、日本人の嗜好についての研究も不可欠だ。これらは時間と労力を要する作業だが、必ず成果を生むはずだ。

Hung Yen 省にある Go Yen Son 株式会社の Bui Hoang Ha 社長は日本向け輸出を始める

にあたり日本人の嗜好を研究し、昨年から柔らかめの木材をロシアや東ヨーロッパから輸入し商品開発を行った。その結果、同社のフローリング床材やドア枠の日本向け輸出は月額 60 万～70 万ドルに上るといふ。Ha 社長は、日本人の嗜好全てを把握することは難しく、直接意見を聞くのが良いと考え、日本の取引先企業から日本人の専門家を招き生産工程について指導を受けているという。

ベトナム木製品生産企業と日本の取引企業との間で 7 月末に会議が開かれた。席上、日本の木製インテリア製品協会代表は、国内景気の低迷で、日本の木製品生産および取り扱い企業の多くが破産し、製品価格は大幅に下落したと述べた。企業存続のために、日本の木製品輸入企業はベトナムを始めアジア各国から低価格で木製品を輸入しており、さらに生産請負先を賃金が安い海外に求めているという。今後は、ベトナムの木製品生産企業は日本へ輸出を行うだけでなく、市場ニーズに合わせた商品開発や技術面で日本企業と協力体制を強化する必要があるとの意見が出された。

(Thoi Bao Kinh Te Sai Gon 8 月 26 日,P.44)

ホーチミン市の経営幹部、人物像を徹底研究

人文社会科学センターは今年 5 月、経営文化に関する研究テーマに基づく調査をホーチミン市内で実施した。それによると市内の民間企業経営幹部の平均的な人物像は「42 歳で地方出身の大卒、31 歳で経営の道に足を踏み入れ、35 歳で独立」とした分析結果を明らかにした。

2003 年ベトナム商工会議所名簿から無作為抽出された市内の企業経営幹部(主に社長あるいは副社長) 186 人の内訳は、国営企業・14%、株式会社・12%、国内資本の有限会社・66%、外資の有限会社・2%、合弁会社・4%、その他・2%となっている。無作為標本の適用によりサンプルは少ないものの、この調査結果から浮かび上がった人物像にはリアリティーがある。

有限会社の 93%が 1990 年以降に設立され、その規模は従業員数が 30 人以下・57%、31～100 人・23%で、100 人以上は 20%と比較的小規模となっている。2003 年の売上は、50 億ドン(約 33 万ドル)以下・36%、50 億～500 億ドン(約 33 万～333 万ドル)・50%、500 億ドンを超えたのは 14%となった。

若年化と高学歴化

市内の民間企業経営幹部の平均年齢は 42 歳で、国営企業の同 51 歳より 9 歳若く、サイゴン解放(1975 年)後の世代にあたる 46 歳以下は 66%を占める。2000 年越日研究プログラムにより民間企業を対象に全国で実施された調査結果によると、民間企業経営者の平均年齢は 46 歳となっている。このことから、市内ではここ 5～7 年間で起業年齢が若年化していると言える。市内の民間企業経営幹部全体の約半数を「20～39 歳」が占めている。

女性の経営者は、有限会社で 22%、国営企業で 4%となっている。

民間企業経営幹部の大半が高学歴で、大学または短大卒業・79%、大学院修了・4%となっており、高校卒業・15%、中学校卒業・2%に留まっている。専門性に関しては、47%が正規の教育機関で経営管理(1~2年以上)を学び、21%が短期コース(数週間~数カ月)を受講した。

民間企業経営幹部の8%が華人となっている。民間企業経営幹部の8%が共産党員、7%が共産党青年団員で、一方、国营企業では共産党員が85%を占めている。民間企業経営幹部の30%が経営者協会あるいはクラブの会員で、70%はどの組織にも属していない。

出身地

民間企業の社長および副社長の38%が幼少期からホーチミン市で暮らしている。残りの62%は全国各地からの移住者で、サイゴン解放直後の1975~1980年の時期、およびドイモイ(刷新)が開始された1986~1990年でその数が最も多い。このうち約3分の1が17~19歳で大学に通うため市に上京し、卒業後も留まり起業した人々だ。地方出身者のうち北部(Quang Binh 省以北)出身は21%、中部および Tay Nguyen 地域が17%、南部(ホーチミン市を除く)は20%、海外(越僑など)が3%となっている。

市内の民間企業社長および副社長のうち3分の2を地方出身者が占めていることは、ホーチミン市が国家の経済的中心地である裏付である。Sai Gon と呼ばれるようになった約300年前当時から、この地は全国各地から人々が仕事を求めて集まる「開けた」地域だった。潜在力とは「内なる力」だけでなく、外部から異質なものを受容して高まる力と言える。

家族的背景

父親の職業に対する質問で、有限会社の社長および副社長の回答は以下の通り。

- ・ 国家機関・団体の管理職： 17%
- ・ 小規模な販売業者・経営者： 13%
- ・ 知的労働者(教師、医師、技術者など)： 12%
- ・ 農業： 12%
- ・ 会社員(国营および民間企業)： 10%
- ・ 民間企業経営者： 9%
- ・ 国营企業の管理職： 6%
- ・ 小規模な民間事業者： 6%
- ・ 手工業・自由業： 6%
- ・ 工員： 3%
- ・ その他： 6%

父親あるいは母親が民間企業の経営者、つまり家業を継いだ民間企業経営幹部は全体の約10%(123人中12人)に留まっている。このことから、民間企業経営幹部の大半が家業としての経済的背景を持っていないと言える(親から子への2世代間に限定した場合)。

職務経験

市内の民間企業経営幹部の大半が、社長あるいは副社長としての地位を獲得する前に、少なくとも1つあるいは2つの仕事を体験している。卒業と同時に起業した人は非常に少ない。以前の職業に関する質問への回答は次の通り。

・民間企業：	33%
・国家機関：	31%
・国営企業：	24%
・個人業者：	14%
・合弁企業：	13%
・自由業：	11%
・小規模な販売業：	7%
・無職：	4%
・その他：	7%

(2種以上の職業を経験した場合を含むため、合計は100%を超える)

対象者の中には、耳鼻咽喉科医、法律専門家、歴史教師、哲学教師、映画評論家、画家、軍隊出身者、井戸掘りなどの経歴を持つ者がいた。

半数以上が国家組織(国家機関および国営企業)での勤務経験があり、国営・民間・合弁を合わせた企業での勤務経験者は全体で63%に上る。これは、彼らの独立に向けた準備期間であると言えるだろう。

経営経験年数

市内の民間企業経営幹部の83%が、経営に関り始めて約15年と回答した。具体的には1~5年・22%、6~10年・37%、11~15年・24%で、16~30年・17%となっている。経営経験が浅いのは、経営者が若いことに加え、市場開放政策と自由経済が始まって、まだ20年弱しか経過していない社会的背景も要因となっている。

経営に関り始めた年齢は平均31歳で、事業体を設立あるいは独立した年齢は35歳となっている。起業時期はドイモイ政策の後が大半を占め、1990年代が最も多くなっている。

総括すると、現代の民間企業経営者は若年層が多く、起業後15年に満たないことが分かる。彼らの大半は、伝統的家業による経済的な恩恵を受けることが出来なかったため、何も無いところから全てを始めなければならなかった。成功した者もいれば、失敗に終わった者もいる。彼らの才能を活かし、短期間での成長を支援する環境を整えて初めて世界に誇れるだけの国家経済を築くことが出来るのである。

(Thoi Bao Kinh Te Sai Gon 9月2日,P.12)

外国人の来越者数、年初8カ月で190万人

ベトナムを訪れた外国人は今年8月で3万5,798人、年初から現在までに前年同期比33.1%増の189万2,015人に達し、うち観光客は100万9,959人となった。入国方法は、空路が最も多く同38.2%増の115万2,000人で、海路は同31.3%増となった。国籍別には中国が依然としてトップで、続いて米国、台湾、日本、韓国、オーストラリア、フランス、英国となっている。

(Nhan Dan 9月8日,P.1)

EU向け繊維製品輸出が伸び悩む

商務省によると、EU向け繊維製品の輸出額は年初8カ月で4億7,065万5,800ドルに留まる見込みだという。これは今年の年間目標値約10億ドルの半分以下となる。伸び悩みの原因としては、クォータが残っている企業が新規契約に至らず、逆にクォータを使い切った企業に発注が集中し需要に応えられないことなどが挙げられる。需要の高い製品の大部分がクォータ制限を受けている上、現時点でクォータの75%以上を使用済みなため、輸出額が年末までに伸びる可能性は低い。また、生産量が少なくクォータ制限の無い製品は成長が期待できない。

(Tuoi Tre 9月2日,P.11)

原油の輸出が好調

ベトナム石油・ガス総会社によると、石油探掘量は年初8カ月で原油が1,350万トン、ガスは43億^mの合計1,760万トンに上り、年間計画量の75.8%に達したという。原油輸出量は1,300万トン、輸出額は前年同期比43%増の35億ドルで計画の20%超となった。また、石油精製企業はガス・27億^m、凝縮ガス・16万6,000トン、液体ガス(LPガス)・25万4,000トンを生産した。

(Sai Gon Giai Phong 9月5日,P.1)

外国直接投資プロジェクト、登録投資総額が12億ドル超

統計総局によると、年初から8月25日現在までに認可された外国直接投資(FDI)プロジェクトは前年同期比8.1%増の450件に上り、登録投資総額は同21.2%増の約12億4,600万ドルに達した。南部における許可書発給件数は全体の70%となる315件、登録投資総額は7億5,320万ドル、北部では同135件・約4億9,300万ドルとなった。Dong Nai省での登録投資総額は2億7,090万ドル、Thai Nguyen省では同1億4,770万ドルに達した。ホーチミン市では137件の許可書が発給され北部での合計件数を超えた。

(Nhan Dan 9月8日,P.1)

***** 一口ニュース *****

ホーチミン市在住の枯葉剤被害者は4,500人以上

(Nguoi Lao Dong 9月8日,P.6)

鉄鋼価格上昇の原因究明に向けて、国家調査総局は鉄鋼関連企業への調査実施を決定

(Dau Tu 9月8日,P.1)

日本人高齢者向け都市建設計画に向け、ItoyamaグループがDa Nang市を視察した

(Sai Gon Giai Phong 9月8日,P.8)

ベトナムセメント総社は傘下企業に対し、需要の増加などに備えクリンカー100万トン、パラセメント15万トン、袋セメント20万トンの輸入先を確保するよう指導した

(Thoi Bao Kinh Te Viet Nam 9月6日,P.1)

ハノイ都市文化開発社(CivideC)は、Quang Binh省にある世界遺産Phong Nha - Ke Bang国立公園内で高級リゾート建設に着工した。投資総額は3,000億ドル(約2,000万ドル)で、2007年に完成予定

(Dau Tu 9月6日,P.15)

外国為替相場

(Viet Com Bank ホーチミン支店・9月9日現在)

キャッシュ

15,763 ドン / USD

******* 入札情報 *******

居住区におけるインフラ建設工事入札

開催者 : ホーチミン市都市開発プロジェクト管理委員会
入札項目 : Binh Tan 区および 6 区における低所得者向け居住区におけるインフラ建設
工事入札
書類入手日 : 9 月 20 日
書類提出期限 : 10 月 20 日 9 時 30 分
問い合わせ先 : 都市開発プロジェクト管理委員会(25 Pham Ngoc Thach St., Dist.3, Ho Chi
Minh City)
Tel : (84-8) 8246500 Fax : (84-8) 8246499

造船設備の供給入札

開催者 : Song Thu 社
入札項目 : Da Nang 市における造船所の建造および修繕能力向上プロジェクトに伴う
電動甲板機械の供給入札
書類入手日 : 9 月 17 日
書類提出期限 : 10 月 18 日 8 時
問い合わせ先 : Song Thu 社 (2 Thang 9 St., Hoa Thuan Ward, Hai Chau Dist., Da Nang
City)
Tel : (84-511) 626318

******* 事件・出来事 *******

中秋節の月餅、400 万ドン的高级品

ホーチミン市 3 区 Pham Ngoc Thach 通りの Maxim's ベーカリーは、中秋節用の高級月餅 “ Maxim's Hoang Gia ” の販売を開始した。 Nguyen Van Hung 経営部長によると、価格は 1 箱 400 万ドン(約 267 ドル)で重さ 20 キロ、個別のステンレス製ケースに収められた月餅 8 個入りで、魚、チーズ、蓮の実などの様々な味が楽しめる。箱は中国からの輸入品で、蓋部分は銀で紫禁城や万里の長城が描かれ、底面は将棋盤になっており、専用の将棋駒でゲームが楽しめる。 100 箱が生産されたが、すでに 55 箱が予約済みだという。

(Phap Luat 9 月 5 日,P.2)

人々の善意を悪用した、バス車内での詐欺行為

1歳前後の女の子を抱いた30代と見られる男性が8月20日9時頃、ホーチミン市5区Cho Lon発Long An省Ben Luc行きのバスに乗車した。男が下げている花柄のかばんの片側には鋭く切り裂かれた跡があった。車掌が料金の徴収に来ると男は慌てた様子でかばんを探り、両足を震わせながら、「私はBen Lucで薬を買うために実家のBa Ria - Vung Tau省からMien Dongバスターミナルに出て来たのですが、かばんに入っていた42万ドン(約28ドル)がないのです」と涙ながらに訴えた。かばんの傷跡を見た車内の誰もがこの男に同情し、2万ドン(約1.3ドル)札や5万ドン(約3.3ドル)札をカンパしたのだった。

友人にこの話をすると、彼はすぐさまその男が「女の赤ん坊を抱えた30代の男で、花柄のかばんを持ち、金をなくしたと言って両足を震わせながら泣き出す」のではないかと尋ねた。友人が乗り合わせたバスで男は、「子供が猫に引っかかれ、パスツール研究所で予防注射を受けさせるためにLong Thanhからホーチミン市に出て来た。かばんには36万ドン(約24ドル)入っていた」と言い、Ben Luc行きのバスの場合と同じ光景を目にしたという。他のバスでも、同様の芝居を演じているようだ。

(Sai Gon Giai Phong 9月6日,P.3)

***** コラム *****

迷信深い国営企業

投資主と建設請負業者が真夜中にツルハシやシャベルの音を響かせながら着工式を行った。占い師の助言に従った結果だという。

旧暦7月になると、人々は幸運を求め、こぞって供養参拝を行う。事業所の規模に合わせた大小様々な儀式を展開する迷信深い国営企業が増えているようだ。

Pごみ処理場の落成式で、処理場を管理するM公社が丸々と太った豚の丸焼きを3頭も積み上げた時には、招待客も驚きを隠せなかった。しかも、祝典に付き物であるテープカットの代わりに、2人の重役が厳かな顔つきで交互に焼香し、ひざまずいて祈りを捧げるのだった。人々は、「ごみピットの壁が崩れて公害を引き起こさないように祈ってるんだ」などと口々に噂した。あらゆる方角に向けた“儀式”が全て済むと、続いてごみ収集車の入場式が始まった。ある職員が、「この収集車の運転手選びでは、干支の合う適任者が見つかるまで苦労したんですよ」と耳打ちした。M公社では、旧暦15日になると社員一同連れ立って供養参拝に行くのが恒例となっており、米、果物、線香などの供物代も経費の一部とされている。

“神頼み、仏頼み”はホーチミン市の道路建設請負業者が得意とすることだ。多くのプロジェクトについて、「旗日を祝して着工」などと各新聞が報じるが、実際は違う。着工の

日取りは占い師を頼りにじっくり吟味され、縁起を担ぐため手落ちのないよう着工式を行うのだ。その結果、投資主や建設請負業者が占い師の言葉に背きたたりに遭うのを恐れ、夜中であっても着工式と称してツルハシやシャベルを形だけ数回振り下ろすことも決して少なくない。複数の占い師から異なった“吉日”を宣告されたために揉めることもあるようだ。

興味深いのは、供養参拝を欠かさず、吉日を選び、干支などを重視するにも関わらず、多くの公共事業で問題が発生する点だ。M 公社が手掛けたプロジェクトは、環境衛生管理に不備が多く、周辺住民の生活に悪影響を及ぼしているとして多くの苦情が寄せられている。道路や橋梁の建設プロジェクトの状況は最悪で、開通日は変更に変更を重ねて限りなく延期される上、開通前から使い物にならないといった具合だ。

「信あれば徳あり」という諺があるが、手さえ合わせれば全て上手くいくという意味ではないのだ。

(Nguoi Lao Dong 8 月 31 日,P.5)

利用注意事項

当サービスは契約をいただいているお客様のみを送付している有料サービスです。無断コピー、無断譲渡、自社内以外での再利用及び閲覧させることを禁止します。違反があった場合、営業妨害として契約を解除し賠償請求を行うことがあります。ベトナム最新情報及びメールサービスは代理店での販売を一切行っておりません。購読契約のお申込は直接当社まで、お電話ないしはメールでお申し込みください。

www.toho.com

E-mail: info@toho.com

この PDF はネット上に置くサンプルのためロックをかけております。

TOHO CO., LTD.

SUN WAH TOWER, 7th Floor
115 Nguyen Hue St, Dist.1
Ho Chi Minh City, Vietnam
TEL: (84-8) **821-9292**
FAX: (84-8) **821-9294**

[ベトナムニュース The Watch に戻る](#)

[ベトナムビジネス TOHO社に戻る](#)